

1 本時の目標

嬉野茶の美味しさを味わい、全国的にも有名な嬉野茶に興味を持ち、意欲的に調べることができるようにする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)

2 展開 (1 / 7 時)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (【】)
1 めあてをつかむ。 〈学級全体〉	○本単元の学習内容に対する興味を高めることができるように、嬉野茶の学習を3年生時の「総合的な学習の時間」にしてきたことを振り返る時間を取る。[A①] ○おいしいお茶の入れ方への期待感を高め、見学へ臨ませる。
本時のめあて 嬉野茶のすばらしさを体験しよう。	
2 関連施設「嬉茶楽館」へ行き、体験をする。 〈学級全体〉 ・おいしいお茶の入れ方を学ぶ。 ・工場見学をする。	○学習意欲を高めることができるように、事前に、施設の職員に嬉野茶が全国的に有名であることを話してもらうよう依頼をしておく。 ○職員にお茶の入れ方の手順を教えてもらいながら、実際に体験をする時間を取る。 ○おいしいお茶の入れ方を教えてもらい自分でお茶を入れたり、飲んだりすることを通して、嬉野茶への興味・関心を引き出す。 ○昔は手作業で行っていた製茶が機械化されていることを知らせ、実際に見学をさせる。 ○施設の職員の方々に感想を踏まえ、お礼を伝えさせる。
3 感想を振り返りカードに記入する。 〈個人〉	○見学の感想をカードに記入させる。見学で学んだことを中心に記述するように伝える。
※事後 ・家庭でも嬉野茶を入れてみて、感想やお礼の手紙を書く。	嬉野茶のおいしさを味わい、全国的にも有名な嬉野茶に興味を持ち意欲的に調べている。【評価】 ○施設から頂いた嬉野茶を家庭でも入れるように伝える。 ○見学で分かったことを整理することができるように、家庭でもお茶を入れた経験を踏まえて、お礼の手紙を書くように助言する。

1 本時の目標

吉村新兵衛に関する資料や写真への気付きや疑問を持ち、学習問題を考え、表現することができるようにする。
(社会的な思考・判断・表現)

2 展開 (2 / 7 時)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (【】)
1 嬉野茶の体験を振り返り、 嬉野茶の感想を交流する。 〈学級全体〉	○嬉野茶のすばらしさを全体で再確認することができるように、おいしい嬉野茶の入れ方を学んだことを振り返り、嬉野茶の受賞歴等、生産量や売り上げ等の資料を示し、[A①]
2 本時のめあてをつかむ。 〈学級全体〉	○昔の茶畑の様子や大茶樹の写真を見せ、吉村新兵衛に注目させる。
本時のめあて 資料への気付きや疑問から学習問題をつくろう。	
3 吉村新兵衛に関する資料や 写真を通して気付いたことや 疑問に思ったことを書いて、 話し合う。 〈個人→グループ→全体〉	○児童の興味関心を高めることができるように、新聞記事や写真を少しずつ提示して発問をする。[A②] ○「吉村新兵衛さん祭り」の新聞記事や写真への気付き(!)や疑問(?)をワークシートに書かせ、グループで交流した後、全体で話し合い、考えを共有させる。[A②]
【時代】 (!) 1600 年～1675 年の人。→昔の人。 (!) 約 400 年前。→お茶の木がない。 山や荒地。米や作物が育たない。 【お茶づくり】 (?) 佐賀の白石町の武士なのにどうして嬉野の不動山なのか。 →嬉野が好きになった。 (?) なぜお茶づくりをはじめたのか。 →お茶に向いた土地。 (?) どうして武士なのに お茶づくりなのか。 →お茶づくりが得意だった。 4 つの観点で分けて黒板に書く。 ※ (!) 気付き, (?) 疑問, → 問い返し 【感謝】 (?) どうして新茶のお茶摘みの前なのか。 →お茶の良い出来を願う→お茶を始めた大切な人。 (!) 市長もいる。 (!) 100 人→たくさん→感謝されている。 【思い】 (?) どんな思いでお茶づくりをはじめたのだろう。 →嬉野のために。 (?) どんな苦労があったのだろう。→畑づくり。	
4 気付きや疑問を基に学習問題をつくる。 〈個人→全体〉	○気付きや疑問、予想を引き出した上で、それらに問い返ししながら、学習問題の設定につなげていく。 ○調べる観点「時代」「お茶づくり」「感謝」「思い」をつくることができるように、児童の気付きや疑問を意識的に分けて板書し、児童にどのような観点でまとめられるかを考えさせる発問をする。[A④] ○学習問題を考えることができるよう、「時代」「お茶づくり」「感謝」「思い」の観点を比べたり、まとめたりするように声を掛ける。 資料や写真への気付きや疑問を持ち学習問題を考え、表現している。【評価】
吉村新兵衛は、どのような思いで、どのようにしてお茶づくりをしたのだろう。(学習問題)	
5 振り返りをし、次時の学習内容を知る。〈個人→全体〉	○ 一人一人に本時の振り返りをさせ、次回から学習問題解決のために、4 つの観点について調べていくことを確認する。

1 本時の目標

- ・副読本や資料, インターネットの Web ページなどから先人の働きや努力などを調べ, 必要な情報を集め, 読み取ることができるようにする。(観察・資料活用の技能)
- ・吉村新兵衛のお茶づくりの様子や努力や工夫, 当時の時代状況を理解することができるようにする。(社会的事象についての知識・理解)

2 展開 (3 / 7 時)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (【】)
1 前時の学習を振り返る。 〈学級全体〉	○本時の学習の見通しを持つことができるように, 学習問題を確認する。 学習問題 吉村新兵衛は, どのような思いで, どのようにしてお茶づくりをしたのだろう。
2 めあてをつかむ。 〈学級全体〉	○本時のめあてをつかむことができるように, 学習問題を解決するためには, 学習計画が必要であることに気付かせる。
本時のめあて 学習計画を立て, 学習問題について調べていこう。	
3 学習計画を立てる。 〈学級全体〉	○学習問題を解決する意欲を高めることができるように, 学習問題を解決するためにはどのような方法で調べればよいのか考えさせる。 ○学習問題解決までの見通しを持つことができるように, 4 つの観点「時代」「お茶づくり」「感謝」「思い」について, 調べていく計画を表にまとめていく。
4 学習問題を解決するために「時代」「お茶づくり」について調べる。 〈個人→学級全体〉	○学習計画を基に, 本時は「時代」「お茶づくり」について調べることを確認する。 ○副読本「わたしたちの嬉野市」や吉村新兵衛に関する資料を基に, 時代背景や不動山でのお茶づくりの工夫について調べさせる。 ○調べて分かったことをワークシートにまとめさせる。 ○吉村新兵衛のお茶づくりについて, 理解を深めることができるように, 個人で調べたことを全体で交流した後に, 意味を問う発問をする。
5 学習の振り返りをする。 〈個人〉	○吉村新兵衛のお茶づくりについて, 理解を深めることができるように, 前時の学習とつなげてまとめるように伝える。[C⑩] 吉村新兵衛のお茶づくりの様子や努力や工夫, 当時の時代状況を理解している。【評価】
6 次時の学習を確認する。 〈学級全体〉	○学習計画を基に, 次時は「感謝」「思い」について調べていくことを確認する。

1 本時の目標

- ・副読本や資料，インターネットの Web ページなどから先人の働きや努力などを調べ，必要な情報を集め，読み取ることができるようにする。
(観察・資料活用の技能)
- ・吉村新兵衛のお茶づくりの様子や努力や工夫，当時の時代状況を理解することができるようにする。
(社会的事象についての知識・理解)

2 展開 (4 / 7 時)

学習活動	教師の働き掛け (○)，質的改善を図った手立て (□)，評価 (【】)
1 前時の学習を振り返る。 〈学級全体〉	○単元を通して学習問題を解決していくことを意識することができるように，これまでの学習内容を基に，学習問題について分かったことを全体で確認する。
2 めあてをつかむ。 〈学級全体〉	○本時の学習に対する見通しを持つことができるように，学習計画を基に「感謝」「思い」について調べていくことを確認する。
本時のめあて 学習問題を解決させるために「感謝」「思い」について調べよう。	
3 学習問題を解決するために 「感謝」「思い」について調べる。 〈個人→学級全体〉	○副読本「わたしたちの嬉野市」や吉村新兵衛に関する資料を基に時代背景や不動山でのお茶づくりの工夫について調べさせる。 ○調べ学習をスムーズに行うことができるように，インターネットの Web ページを限定した上で，取り組ませる。 ○調べて分かったことを整理しやすくするために，観点ごとにワークシートにまとめるように伝える。 ○調べた事実相互を関連付けて考えることができるように，前時に調べて分かった「時代」や「お茶づくり」の内容を踏まえて，吉村新兵衛の「思い」について考えさせる。 ○吉村新兵衛のお茶づくりについて，理解を深めることができるように，個人で調べたことを全体で交流した後に，意味を問う発問をする。 副読本や資料，インターネットの Web ページなどから先人の働きや努力などを調べ，必要な情報を集め，読み取っている。【評価】
4 学習の振り返りをする。 〈個人〉	○吉村新兵衛のお茶づくりについて，理解を深めることができるように，前時の学習とつなげてまとめるように伝える。[C⑩] 吉村新兵衛のお茶づくりの様子や努力や工夫，当時の時代状況を理解している。【評価】
5 次時の学習を確認する。 〈学級全体〉	○次時はゲストティーチャーに自分たちで調べても分からなかったことについて質問し，学習問題の解決につなげることを確認する。

1 本時の目標

- ・ゲストティーチャーの話から先人の働きや努力などを調べ、必要な情報を集めることができるようにする。
(観察・資料活用の技能)
- ・吉村新兵衛のお茶づくりの様子や努力や工夫、当時の時代状況を理解できるようにする。
(社会的事象についての知識・理解)

2 展開 (5 / 7 時)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (【】)
1 前時の学習を振り返る。 〈学級全体〉	○単元を通して学習問題を解決していくことを意識することができるように、これまでの学習内容を基に、学習問題について分かったことを全体で確認する。
2 めあてをつかむ。 〈学級全体〉	○本時の学習に対する見通しを持つことができるように、学習計画を基に、本時はゲストティーチャーに質問し、学習問題の解決につなげることを確認する。
本時のめあて ゲストティーチャーの話を聞き、吉村新兵衛とその子孫の働きや努力について話を聞く。	
3 ゲストティーチャーから嬉野茶や吉村新兵衛とその子孫の働きや努力について話を聞く。 〈学級全体〉	○ゲストティーチャーの話を聞いて分かったことを整理しやすくするために、観点ごとにワークシートにまとめるように伝える。 ○学習問題の解決のためにこれまで調べてきた中で解決できなかった疑問や、ゲストティーチャーに話を聞いてみたいと思ったことを中心に質問するように伝える。 ゲストティーチャーの話から先人の働きや努力などを知り、必要な情報を集めている。【評価】
4 学習の振り返りをする。 〈個人〉	○吉村新兵衛とその子孫の働きや努力について考えることができるように、「もし吉村新兵衛が嬉野でお茶づくりをしなかったらどうなっていたらろう？」と発問する。 ○吉村新兵衛のお茶づくりについて、理解を深めることができるように、前時の学習とつなげてまとめるように伝える。[C⑩] 吉村新兵衛のお茶づくりの様子や努力や工夫、当時の時代状況を理解している。【評価】
5 次時の学習を確認する。 〈学級全体〉	○次時は、吉村新兵衛や子孫の功績について調べて分かったことを「時代」「お茶づくり」「感謝」「思い」の観点ごとに新聞にまとめていくことを伝える。

1 本時の目標

「時代」「お茶づくり」「感謝」「思い」の観点ごとに調べたことを関連付け、吉村新兵衛の嬉野への思いや嬉野の発展に尽くしたことについて考え、適切に表現することができるようにする。

(社会的な思考・判断・表現)

2 展開 (6 / 7 時)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (【】)
1 前時の学習を振り返る。 〈学級全体〉	○単元を通して学習問題を解決していくことを意識することができるように、これまでの学習内容を基に、学習問題について分かったことを全体で確認する。
2 めあてをつかむ。 〈学級全体〉	○本時の学習に対する見通しを持つことができるように、学習計画を基に、吉村新兵衛や子孫の功績について調べて分かったことを「時代」「お茶づくり」「感謝」「思い」の観点ごとに新聞にまとめていくことを確認する。
本時のめあて 吉村新兵衛や子孫について分かったことを新聞にまとめよう。	
3 ゲストティーチャーから嬉野茶や吉村新兵衛とその子孫の働きや努力について「時代」「お茶づくり」「感謝」「思い」の観点ごとに新聞にまとめる。 〈個人〉	○「時代」「お茶づくり」「感謝」「思い」の観点ごとに新聞にまとめさせる。[E②] ○まとめ方が分からずに、新聞作成に難しさを感じている児童には、これまでのワークシートを振り返らせ、必要な情報を観点ごとに書き出すように伝える。[E④] ○新聞には、文章だけでなく絵や図を加えることで分かりやすくなることを伝える。 「時代」「お茶づくり」「感謝」「思い」の観点ごとに調べたことを関連付け、吉村新兵衛の嬉野への思いや嬉野の発展に尽くしたことについて考え、適切に表現している。【評価】
4 作成した新聞を互いに交流する。 〈グループ〉	○友達の新聞の良さに気付くことができるように、お互いに新聞を交流し、内容について説明をする時間を取る。
5 学習の振り返りをする。 〈個人〉	○吉村新兵衛のお茶づくりについて、理解を深めることができるように、前時の学習とつなげてまとめるように伝える。[C⑪]
6 次時の学習を確認する。 〈学級全体〉	○次時は、これまでの学習を踏まえて学習問題に対する最終的な考えを記述することを伝える。

1 本時の目標

先人の願いや努力に気付き、先人の働きが人々の生活向上につながったことを理解できるようにする。
(社会的事象についての知識・理解)

2 展開 (7 / 7 時)

学習活動	教師の働き掛け (○), 質的改善を図った手立て (□), 評価 (【】)
1 前時の学習を振り返る。 〈学級全体〉	○吉村新兵衛や子孫の功績について調べて分かったことを「時代」「お茶づくり」「感謝」「思い」の観点ごとに新聞にまとめることができたことを賞賛する。
2 めあてをつかむ。 〈学級全体〉	○本時の学習に対する見通しを持つことができるように、学習計画を基に、本時はこれまでの学習を踏まえて学習問題に対する考えを記述することを確認する。
本時のめあて これまで学習してきたことを基に、自分の学習問題に対する答えを書こう。	
3 学習問題に対する自分の考えを記述する。 〈個人〉	○吉村新兵衛のお茶づくりについて、理解を深めることができるように、これまでのワークシートや前時にまとめた新聞の内容を基に、学習問題に対する考えを記述する時間を取る。[C⑪] ○まとめに難しさを感じている児童には、これまでのワークシートを振り返るように助言する。
	先人の願いや努力に気付き、先人の働きが人々の生活向上につながったことを理解している。【評価】
4 学習問題に対する考えを互いに交流する。 〈グループ→全体〉	○友達と自分の考えの共通点や相違点に気付くことができるように、学習問題に対する考えを交流する時間を取る。
5 これから嬉野のまちをどのようなまちにしていきたいかを考える。	○嬉野のまちをこれからどんなまちにしていきたいか、具体的に考えることができるように、これまで学習を通して考えた吉村新兵衛の思いについて改めて全体で考えさせる。
6 学習の振り返りをする。 〈個人〉	○吉村新兵衛について、単元の学習を通して学んだことや考えたことについて振り返りをさせる。